

医療的ケア

支援のあり方探る

舞鶴で研修会に140人

「医療的ケア」が必要な重
度障害者の地域支援のあり
方を考える研修会が27日、舞



講演「医療的ケアが必要
理事 杉本健郎氏

訪問看護の療養費の自己負担解消を求める「医療的ケアネット」の杉本健郎理事長＝舞鶴市伊佐津

鶴市の西駅交流センターであり、障害者の家族や福祉関係者ら約140人が参加した。

主催した中丹圏域障害者自立支援協議会は基調報告で、

昨年9月に実施した実態調査の結果と併せ、調査前に亡くなった女兒の実例を紹介。

24時間連続の医療的ケアが必要で、常に睡眠不足だったという母親の声として「近くに

短期間預けられる医療付きの施設があればよかった。

療養費の2割が自己負担となる訪問看護は経済的に無理だった」「ちよっとした用事を

済ませるにも、ヘルパーは医療的ケアをしないという条件

だったので見送っていた」と、厳しい介護の実情を伝えた。

講演したNPO法人「医療的ケアネット」の杉本健郎理

事長は「京都府、大阪府、兵

庫県は訪問看護の福祉医療給付がなく、全国的にも遅れている」と指摘。「療養費の自己負担解消や、地域で展開できる訪問ナースの養成・研修が望まれる」などとして、医療と福祉が連携した支援の必要性を訴えた。